

平塚の仏像

平成十年 十月十日（土）～十月二十五日（日）（月曜休館）。



天徳寺開山在仲宗宥座像

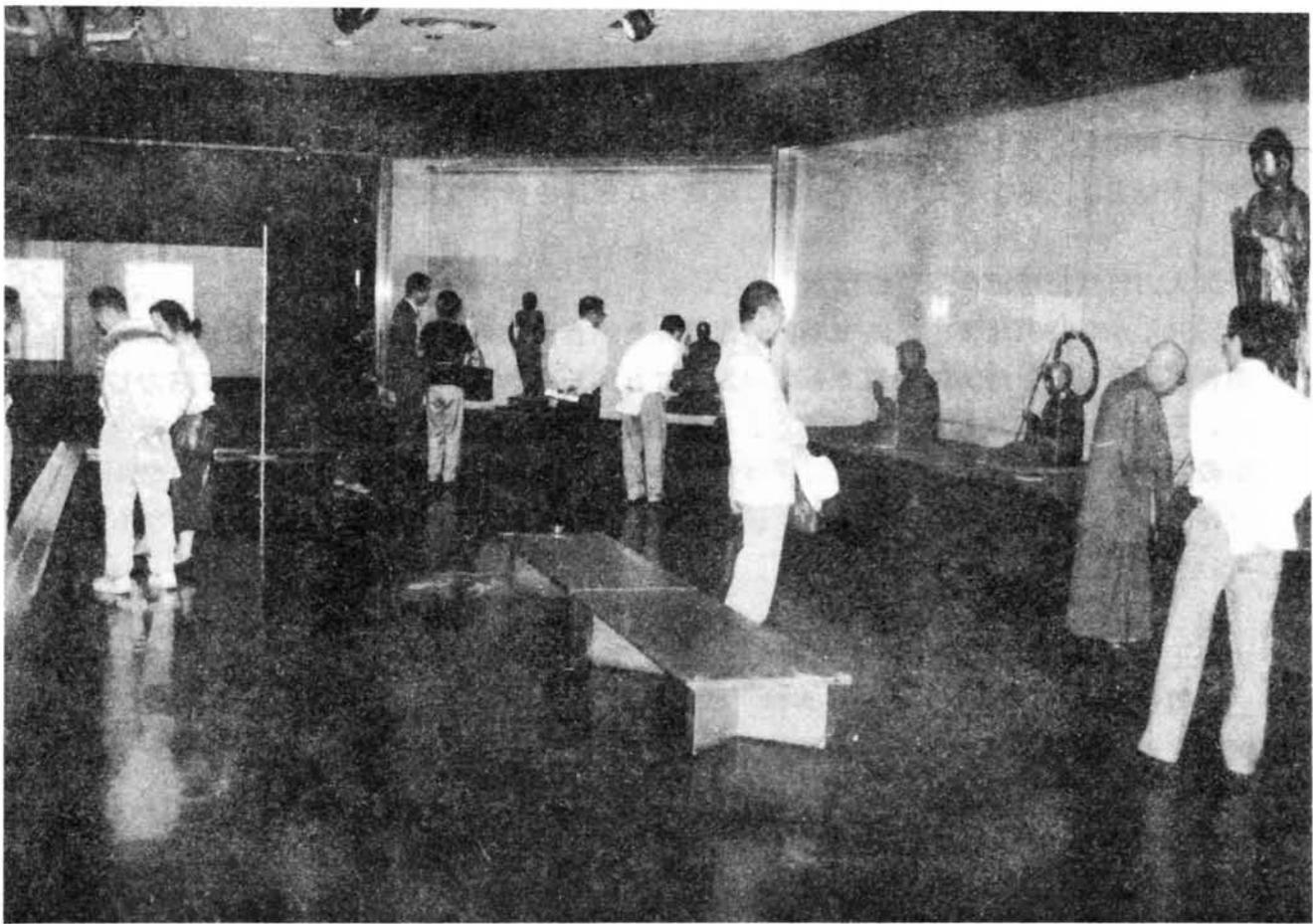
「平塚の仏像」展は、平成元年に開催して以来、二度目の開催になります。

平塚市では、昭和55年、教育委員会社会教育課が、跡見学園女子大学教授三山 進氏を団長とする「平塚市仏教彫刻調査団」を編成、本格的な市内各寺院等の仏像調査を開始しました。その結果、調査が完了する平成2年までの10年間に、110か所、320軀を越える仏教彫刻の所在が確認され、本市は、鎌倉周辺地域でも、とりわけ質・量ともに豊富な作例の多い地域として注目されました。

今回の展示では、そうした仏像の中から平安時代～江戸時代に至る各時代の仏像を、所蔵寺院、檀信徒、お堂管理責任者等のご協力を得て出展・公開し、併せて地域文化財に対する理解を深めることを目的に開催いたします。

出品仏像は、平成7年11月、盗難に遭い無事に戻った国指定重要文化財、木造不動明王立像をはじめ、平塚市指定重要文化財、木造地藏菩薩坐像（中原地藏堂）・木造薬師如来坐像（平等寺）・薬師如来立像（上平塚薬師堂）の三軀を含む、十二軀を博物館特別展示室で公開いたします。

また、特別展期間中の10月21日（水）神奈川県立歴史博物館主任学芸員 薄井和男氏を講師に「鎌倉の仏像を訪ねて」と題し、記念行事を開催いたします。定員は抽選で25名。詳しいことは、平塚市博物館0463-33-5111へお問い合わせを。



『平塚の仏像展』を終えて

平塚の仏像をテーマに特別展を開催するのは、今回で2回目になります。前回は、平成元年に開催いたしましたので、およそ十年ぶりの開催でした。今回も前回同様、市民の皆様方にはご好評をえることができました。特に今回は、平成6年11月に盗難に遭い無事に戻った国指定重要文化財で下吉沢八剣神社の不動明王立像をはじめ、平塚市指定重要文化財で上平塚薬師堂の薬師如来立像や平等寺の薬師如来坐像、その他、九軀のお像を所蔵各寺院のご協力により借用し展示することができました。

10月10日から25日までの14日間という短い期間でしたが、10月21日(水)に特別展関連事業「鎌倉の仏像を訪ねて」を実施しました。定員25名に対し60名を超える市民の皆様方の応募があり、29名の参加のもと神奈川県立博物館主任学芸員薄井和男氏の解説で、鎌倉国宝館、教恩寺、来迎寺を訪ね、県指定の重要文化財を拝観・解説していただきました。

今後も機会をとらえこうした企画を考えてまいりたいと思います。